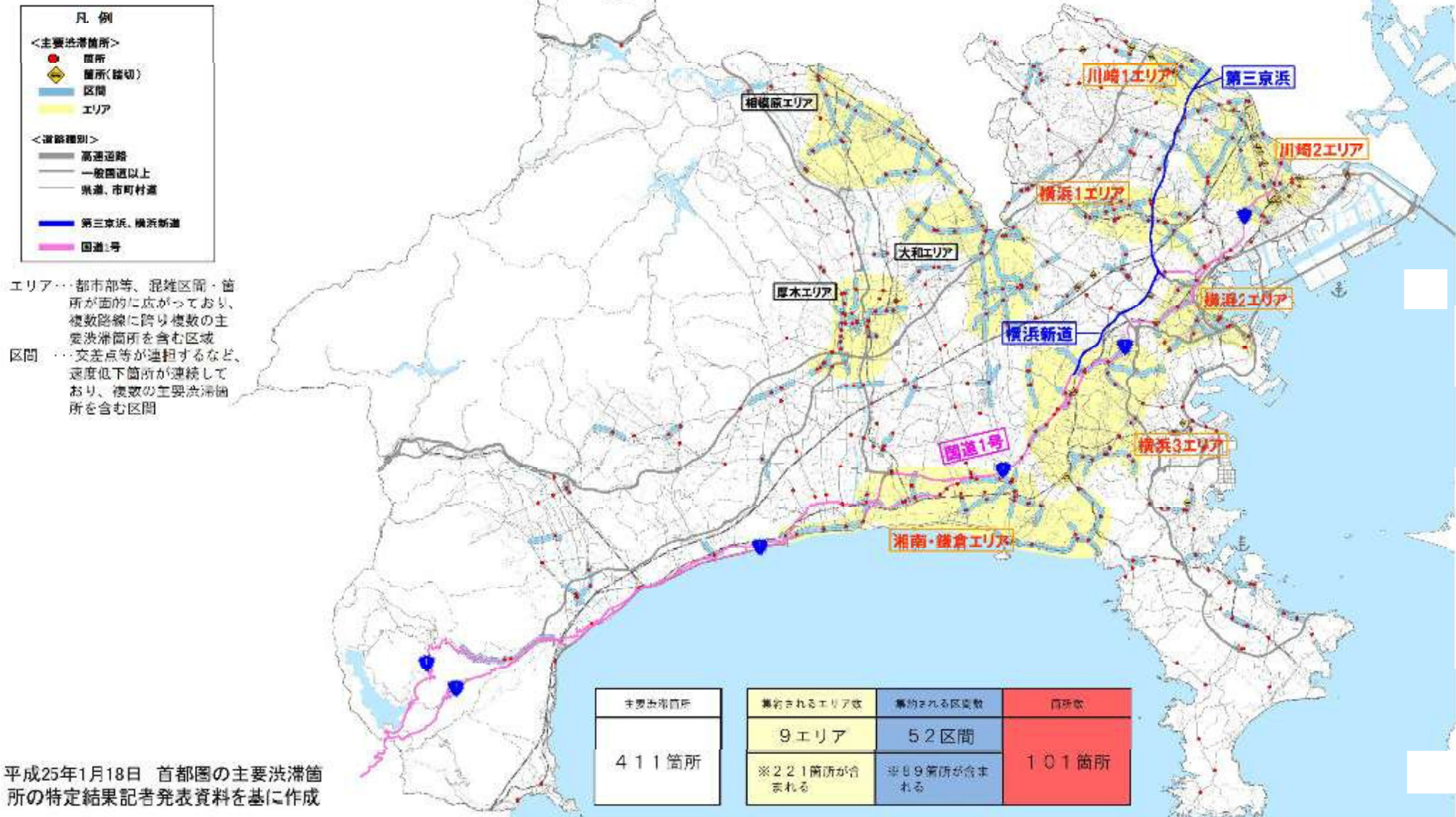


# 1. 事業の背景について①（県内の主要渋滞箇所）

- 首都圏における道路の渋滞対策を効率的に進めていくため、関係機関からなる「首都圏渋滞ボトルネック対策協議会」において、主要渋滞箇所が特定されており、神奈川県内の一般道では411箇所が位置づけられた。
- 国道1号、横浜新道、第三京浜沿線には、県内の「主要渋滞箇所が集約されるエリア」全9エリアのうち、6エリアが存在。

## ■ 神奈川県全体の主要渋滞箇所（一般道）



平成25年1月18日 首都圏の主要渋滞箇所の特定結果記者発表資料を基に作成

## 2. 事業の背景について②（検討の経緯）

### 第1回東名軸WG (H27. 9)

東名高速道路(東名川崎IC~大井松田IC)、海老名JCTの現状について整理  
→大和トンネルおよび海老名JCTのD+Fランプの車線合流部をボトルネックと特定

### 第2回東名軸WG (H27. 12)

海老名JCTの車線運用変更後の交通状況、大和トンネル付近の対策案について整理  
→海老名JCTの改良による効果を確認、大和トンネル付近の対策案を立案

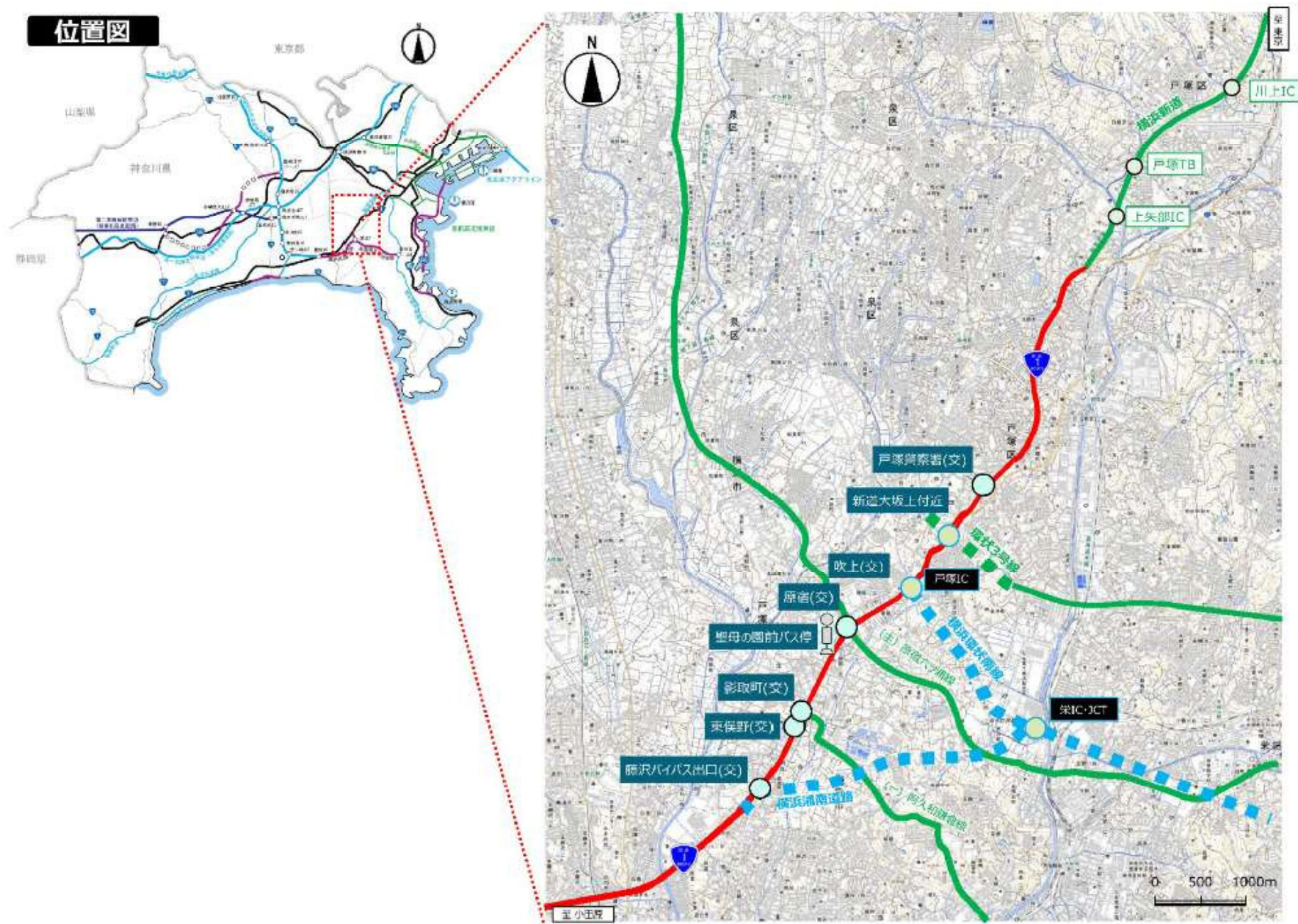
東西方向を結ぶネットワークの交通量が多い神奈川県内の渋滞対策のうち、東京圏と中部・関西圏をつなぐ大動脈である東名高速道路の対策については第2回までの東名軸WGにおいて検討を進めているところ。

### 今後の進め方

神奈川県内におけるもう1つの東西方向の交通を担う国道1号・横浜新道・第三京浜も対象路線として、検討に着手する。



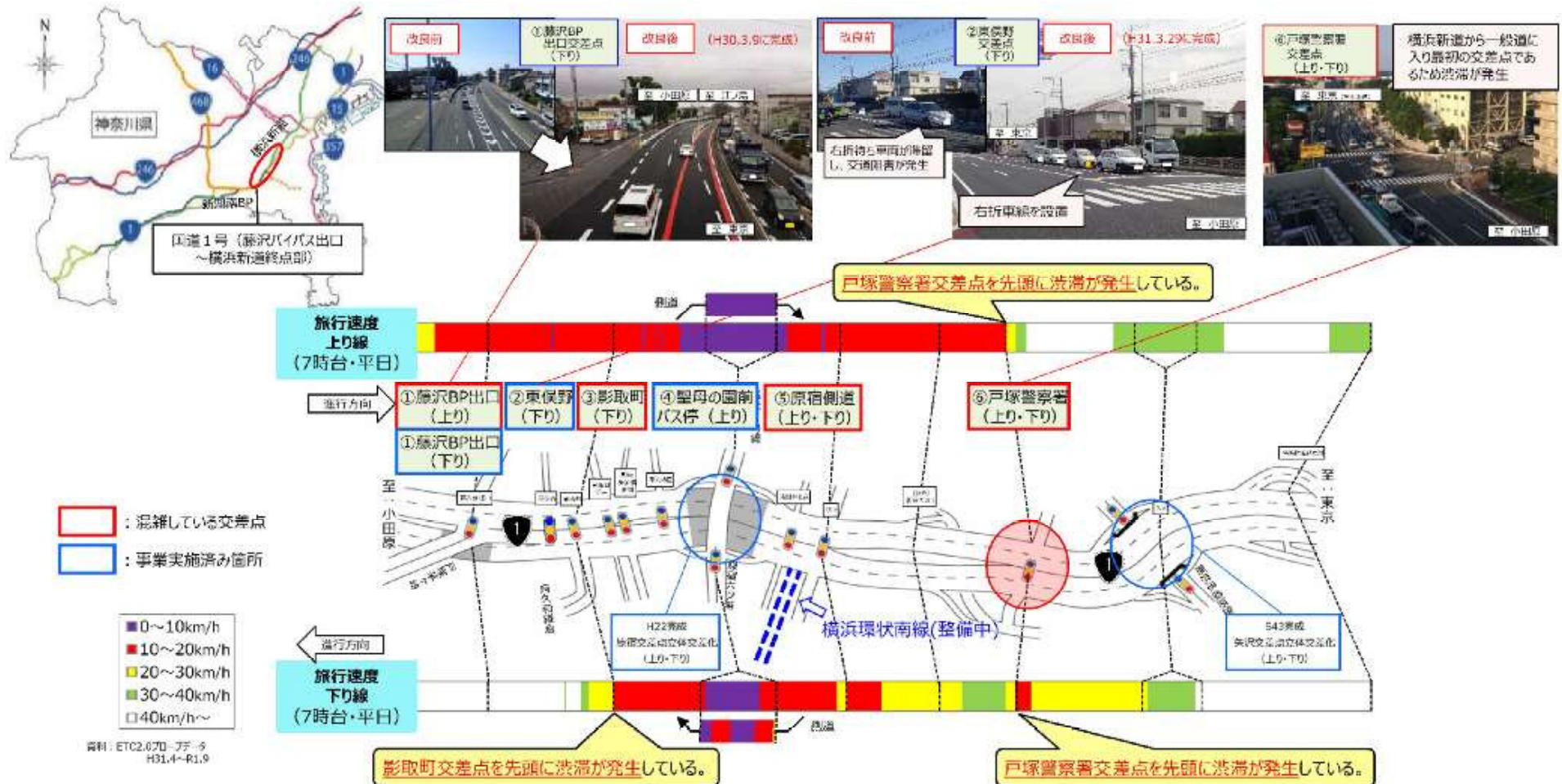
### 3. 事業の対象範囲 (国道1号藤沢BP出口(交)～横浜新道の交差点)





# 4. 国道1号（藤沢BP出口(交)～横浜新道）の交差点の渋滞状況

- 国道1号の藤沢BP出口交差点～横浜新道終点部の渋滞対策として、昭和43年に矢沢交差点の立体化、平成22年に原宿交差点の立体化を実施
- 当該区間については、信号が連担することや交差道路からの流入交通量が多いことなどにより、依然として渋滞が発生している状況
- 現在、戸塚警察署交差点について、立体交差構造の検討を行っているところ
- 今後、その他混雑している交差点についても、交差点改良等の検討を行っていく予定







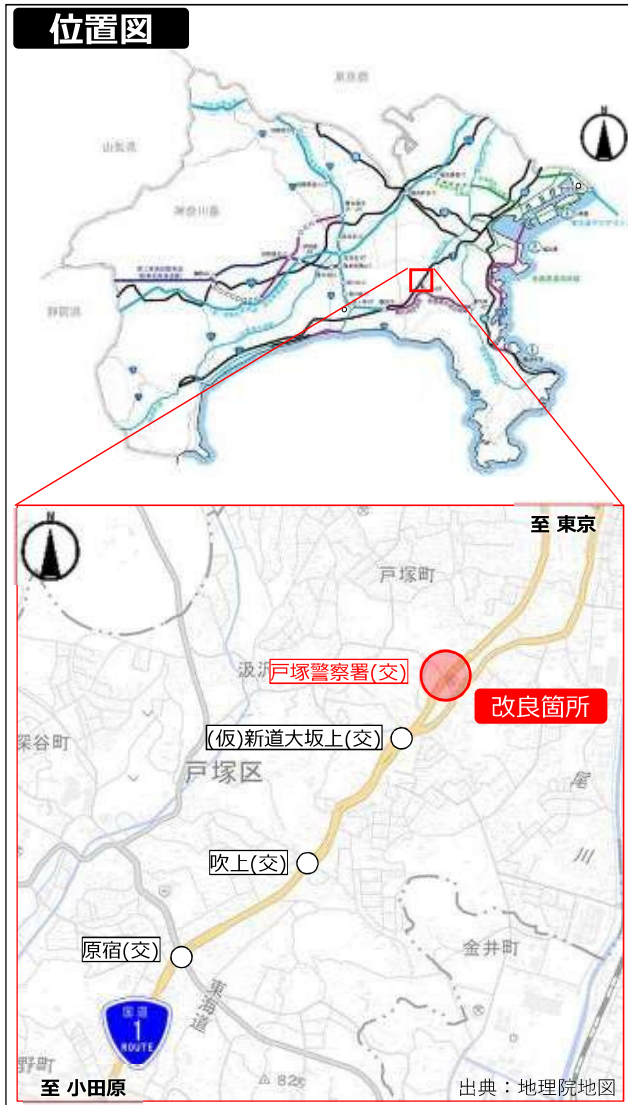
## 6. 国道1号（戸塚警察署交差点）現地交通状況

- 国道1号は4万台/12h以上の交通量がある。
- 戸塚警察署交差点においては、交差市道から東京方面への流入交通が多い。



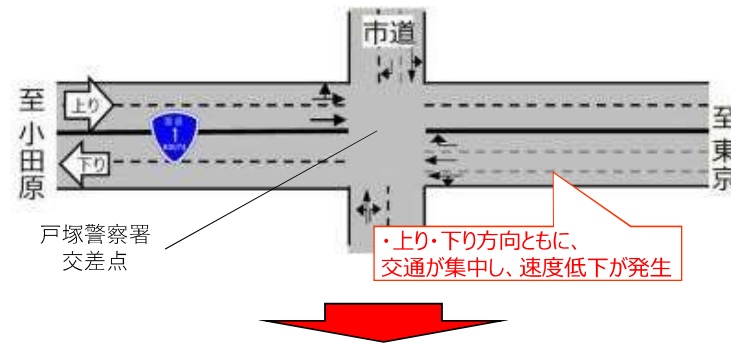
# 7. 国道1号（戸塚警察署交差点）渋滞対策の概要①

- 戸塚警察署交差点では、国道1号上り・下り方向ともに、交通が集中し速度低下が発生。
- 渋滞対策として、戸塚警察署交差点の立体化を検討。国道の下に市道を通し、東京方面と市道を接続する計画で検討を進める。

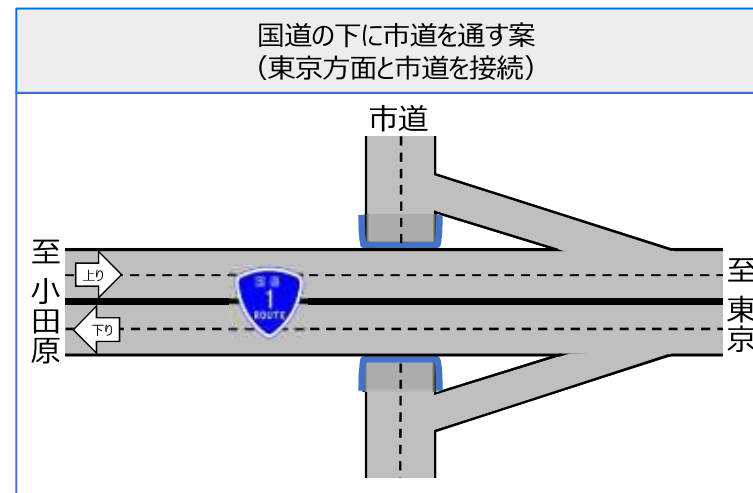


## 対策概要

### 改良前



改良後の立体化構造は、概略検討を実施し、国道の下に市道を通す構造を計画し、引き続き検討を進める。



# 8. 国道1号（戸塚警察署交差点）渋滞対策の概要②

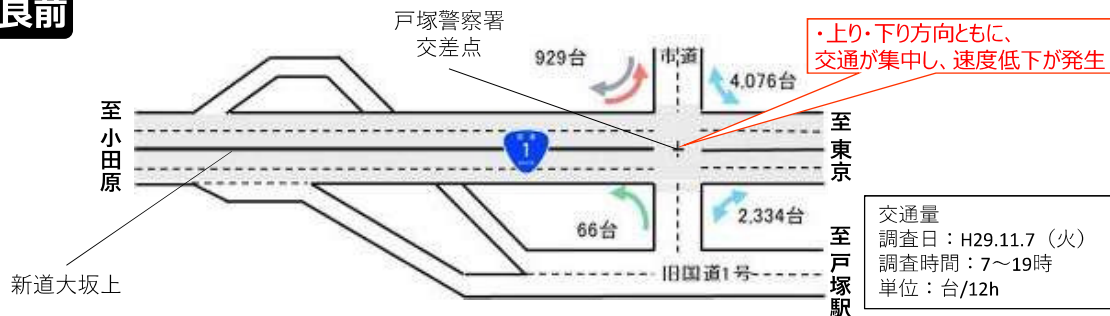
- 市道から国道1号へのアクセスは東京方面が多いことから、国道1号東京方面と市道を接続。
- 国道1号藤沢方面と市道のアクセスは新道大坂上交差点を経由することで可能。
- 引き続き詳細な検討を進める。

## 位置図



## 対策概要

### 改良前



### 改良後

